

# 中津市民病院化学療法レジメン

【レジメンNo】 M-52

申請日	2026/6/3	承認日	2026/6/10	委員長	印
レジメン登録日	2026/6/10	仮承認日		承認者	印

DTX+PerTra(sc)	病名	乳癌	外科	提出医	Dr
対象	HER2陽性の手術不能または再発乳癌				

薬剤商品名 (一般名)	投与量 (mg/m <sup>2</sup> 等)	投与方法 div. iv. po等	投与スケジュール(日)														
			1	5	8	10	15	20	25	30							
フェスゴ配合皮下注IN(Per+Tra)	Per1200mg+Tra600mg/body	SC	○														
フェスゴ配合皮下注MA(Per+Tra)	Per600mg+Tra600mg/body	SC										○					
ドセタキセル	60mg/m <sup>2</sup>	div	○									○					

投与間隔・休薬期間等: 21日=1コース

## 【投与処方例(前投薬など)】

※フェスゴは「IN」=初回導入、「MA」=維持投与量であり、規格注意。

Day1(初回量)

- ① フェスゴ配合皮下注IN /皮下注 8分(大腿部に)  
終了後、30分間経過を観察し、②を開始すること!

- ② メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ③ メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg /div 30分
- ④ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液250mL＋ドセタキセル /div(閉鎖) 1時間

## Day1 (2コース目以降の維持量)

- ① フェスゴ配合皮下注MA /皮下注 5分(大腿部に)  
終了後、15分間経過を観察し、②を開始すること！
- ② メインキープ【緑】 生理食塩液250mL /div
- ③ メイン【赤-1】 生理食塩液100mL＋デキサート6.6mg /div 30分
- ④ メイン【赤-2】 5%ブドウ糖液250mL＋ドセタキセル /div(閉鎖) 1時間

### 【肝機能障害による減量基準】

※ドセタキセル

T-Bil > ULNで中止

AST/ALT > 1.5 × ULNかつALP > 2.5 × ULN : 投与中止

### 【副作用による減量基準】

好中球 < 500/μL、FN発症、血小板 < 10万/μL、皮膚障害G3でG0に改善後、DTXは減量

DTX : 55mg/m<sup>2</sup>

### 【投与間隔と投与量について】

- ・ 前回投与日より6週間未満の時、フェスゴMA(維持投与量)を投与する。

- ・前回投与日より6週間以上の時、フェスゴIN(初回導入)を投与し、次回以降にフェスゴMAを投与する。

### 【ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivからの切り替えについて】

- ・ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの投与日より6週間未満の時、フェスゴMA(維持投与量)を投与する。
- ・ペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの投与日より6週間以上の時、フェスゴIN(初回導入)を投与し、次回以降にフェスゴMAを投与すること。

### 【フェスゴからペルツズマブdiv+トラスツズマブdivの切り替えについて】

- ・フェスゴの直近投与日より6週間未満の時、維持投与量のPer420mg+Tra6mg/kgを投与する。
- ・フェスゴの直近投与日より6週間以上の時、初回投与量のPer840mg+Tra8mg/kgを投与する。次回以降はPer+Traは維持量で投与すること。

制吐剤セット処方⑦：むくみ抑え目的

Day2.3 デカドロン0.5mg 4錠(1日1回朝食後)

参考資料：フェスゴ電子添文、インタビューフォーム、適正使用ガイド